

○水生生物モニタリング調査結果一覧（太田川F）

＜太田川F　水質底質採取項目＞

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
調査地点	水質	底質	水質（Cs）	水質（Sr）	底質（Cs）	底質（Sr）
F－1	○	○	○	○	○	○

＜太田川F　現場測定項目＞

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質	底質				その他	
調査地点	緯度	経度	日	時刻（水）	時刻（泥）	水温（℃）	泥温（℃）	性状	色相	混入物	全水深（m）	透視度（cm）
F－1	37.5975°	140.9252°	R6.12.9	08:55	09:22	7.1	7.0	砂	2.5Y4/2	なし	0.15	>50

＜太田川F　一般分析項目・放射性物質分析項目　水質＞

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD （mg/L）	COD （mg/L）	DO （mg/L）	電気伝導率 （mS/m）	塩分	TOC （mg/L）	SS （mg/L）	濁度 （度）	Cs-134 （Bq/L）	Cs-137 （Bq/L）	Sr-90 （Bq/L）
調査地点	緯度	経度	日	時刻												
F－1	37.5975°	140.9252°	R6.12.9	08:55	7.4	<0.5	2.2	12.4	6.9	0.04	1.0	<1	0.6	N.D.（0.0016）	0.053	0.0031

注）N.D.は、not detected（検出下限値未満）を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

＜太田川F　一般分析項目・放射性物質分析項目　底質＞

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成							Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)				
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2～75mm) (%)	粗砂 (0.85～2mm) (%)	中砂 (0.25～0.85mm) (%)	細砂 (0.075～0.25mm) (%)	シルト (0.005～0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)				最大粒径 (mm)			
調査地点																								
F－1	37.5975°	140.9252°	R6.12.9	09:22	6.8	479	22.1	1.4	2.2	2.680	17.3	27.6	42.9	7.7	0.5	4.0	0.77	4.8	6.4	420	0.68			

注）N.D.は、not detected（検出下限値未満）を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

＜太田川F　分析項目　水生生物＞

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 （kg-wet）	特記事項			放射性セシウム（Bq/kg-wet）			Sr-90 （Bq/kg-wet）
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
F-1	太田川本流	37.5975°	140.9252°	R6.12.8	藻類・植物	－	－	－	－	河床付着物（藻類を含む）	－	0.027	－	－	－	160	N.D.（6.6）	160	－
					節足動物	昆虫	カワゲラ	カワゲラ	<i>Oyamia lugubris</i>	オオヤマカワゲラ	83	0.012	幼虫	－	－	17	N.D.（3.4）	17	－
					節足動物	昆虫	カワゲラ	カワゲラ	<i>Kamimuria tibialis</i>	カミムラカワゲラ									
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Candidia temminckii</i>	カワムツ	30	0.35	未成年/成魚	－	－	48	N.D.（1.5）	48	－
					粗粒状有機物	－	－	－	－	水底落葉等	－	0.24	－	－	－	50	N.D.（1.3）	50	－
F-5	太田川本流	37.6022°	140.9868°	R6.12.11	脊椎動物	硬骨魚	ナマス	ナマス	<i>Silurus asotus</i>	ナマズ	1	0.40	成魚	空胃	内臓除去	19	N.D.（1.8）	19	－
					脊椎動物	硬骨魚	ナマス	ナマス	<i>Silurus asotus</i>	ナマズ	1	0.53	成魚	空胃	内臓除去	26	N.D.（1.4）	26	－

- ※１：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。
- ※２：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。
- ※３：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。
- ※４：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、　内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、　除去して測定した。
- ※５：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで漉した残留物を指す。
- ※６：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。
- ※７：N.D.は、not detected（検出下限値未満）を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。
- ※８：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。